

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
<p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。</p>	<p>学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】学校の「教育方針・教育目標の理解」については、すべての評価者が8割以上の理解を示しており、学校だより・総会等で説明している成果が伺われる。しかし、また、保護者の12%が十分ではないと回答している。学校として取り組んでいることや努力していることの周知に向けて、学校の教育指導や教育活動について十分な説明責任を果たしていかなければならない。「意欲的な学校生活」については教師はほとんどの児童が楽しい学校生活を送っているのとらえているが、児童の9%がそうではないと回答している。この結果を重視して、学校経営の充実とともに児童の成就感、達成感が感得できるような学校づくりに努めていかなければならない。</p>		

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度	6 総合的な学習の時間の充実
<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】教師のほとんどはわかる授業、楽しい授業づくりに努めているという意識を持っているが保護者の8%、児童の13%はそう感じていないことが分かった。また、児童の19%、約2割の児童が授業に意欲的ではないと回答している。このことを重く受け止め、改善の方法を図っていかなければならない。確かな学力の育成は本校の教育目標の一つである。児童の学習意欲なしに確かな学力の育成、定着は難しい。学習意欲の喚起のためさらに教師の努力が必要であることを改めて反省し、今後授業改善を図っていかなければならない。</p> <p>【学校から】教師の意識と児童の意識に大きなずれが生じている。自ら課題を設けその課題解決に向けて行う学習を通して、将来の自分の生き方に生かしていくという特性をもう一度教師が再確認し、創意工夫した学習活動にさらに取り組んでいきたい。</p>		

道徳教育 心の教育

7 道徳、心の教育の充実	8 あいさつ、礼儀の励行
<p>学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。</p>
<p>【学校から】学校朝会、人権朝会等いろいろな機会をとらえて児童に思いやりの心、優しい心の醸成に向けた話を年間を通して行ってきた。また、「道徳の時間」においては児童の体験と結びつけた教材の開発に取り組んできたが、まだ1割程度の児童には浸透していない。今後ともさらに、児童の心に訴える体験に即した教材による「道徳の時間」の充実や日常的な指導を通して、心の教育の充実を図っていききたい。また、あいさつについては保護者の82%、児童の92%はできていると回答しているが教師の評価は65%と低く、三者の間に大きなずれが生じている。このずれがどこから生じているのか原因を明らかにし、家庭、地域との協力のもと連携を図りながら今後の指導に生かしていきたい。</p>	

人権教育

9 一人一人の生徒の尊重	10 友だちへの思いやり	11 学校の支援体制
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。</p>	<p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】児童と教師は一人一人を大切にす指導・対応がほぼできていると肯定的であるが、保護者の20%は否定的にとらえていることが分かった。このような意識のずれがあることを重く受け止め、学校として今後どのような対策をとっていくかを検討し、実践していかなければならない。学校と家庭との信頼関係、児童理解のとらえ方に関わることもあり、学校の今後の課題として受け止めなければならない。友だちへのおもいやりについては保護者、児童、教職員ともにできていると答えており、思いやりの心が育っていると考えたい。</p> <p>【学校から】保護者の89%、教職員の97%が肯定的にとらえている。学校としても校内推進委員会や研修の充実により、組織的に取り組む体制を整備しているところである。今後とも保護者への啓発とともに、児童や保護者のニーズを把握しながら卒業を図っていききたい。</p>		

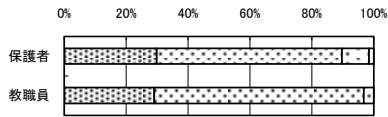
生徒指導 教育相談

12 生徒理解	13 規範意識	14 いじめや問題への対応
<p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとする努めていると思いますか。</p>	<p>子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。</p>	<p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<p>【学校から】児童理解に関して、16%の児童が教師の姿勢を受け止めていない。学級経営の充実を図り、教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を育てるとともに児童理解を深めていかなければならない。規範意識については、保護者の91%、児童の84%が高い意識を持っているとしているが、教師からの評価は低く評価のずれが見られる。家庭では見られない児童の姿があるのかもしれない。家庭と連携を図った継続的な指導が必要である。いじめや問題の対応については、保護者の約2割が学校の対応に不満があったり、その対応の仕方が受け入れられない状況があったことが考えられる。学校の対応を見直したり、説明責任を果たしながら適格に対応する姿勢を全職員で共通理解、共通実践していききたい。</p>		

## 健康教育 安全

### 15 安全と事故防止

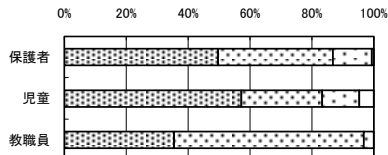
学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



【学校から】学校内の安全に関しては月に1回の定期安全点検や臨時の安全点検を通して主に遊具を中心に児童の安全の確保に努めている。しかし、古い遊具が多いため修理が必要な状況が常にあるのが現状である。丁寧な安全点検を実施し、事故の未然防止に努めたい。また、体力の向上に関しては、本年度「体力向上実践校」の指定を受けたことを契機に業間の運動の時間を確保したり、日常的な運動環境を整備したりと年間を通じた取り組みの結果、12月実施のスポーツテストでは明らかに体力の向上が見られた。今後とも継続して取り組んでいきたい。

### 16 体力向上

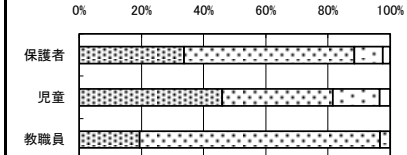
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

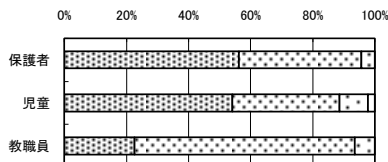


【学校から】学校行事についてはこれまでの踏襲の部分が多く見られた。来年度の学習指導要領の全面実施を機に、見直しを図っていききたい。その際、PTAとの連携、協力も十分頭に入れて実施したい。

## 学校環境

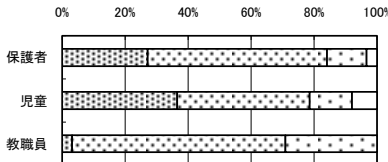
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

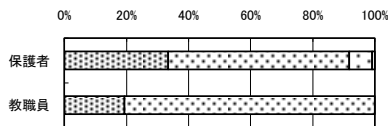


【学校から】保護者、児童の環境緑化に関する関心は高く、保護者は96%が肯定的にとらえている。毎年、学校環境緑化コンクールに応募し、高い評価を得ている。児童も一人一鉢等、年間を通して栽培活動や緑化活動に取り組んでいる。秋の落葉の季節には、多くの児童が朝の落ち葉掃きボランティアに取り組む姿が見られる。今後も心の教育の一環としても児童の自主的な活動を大事にしていきたい。保護者の緑のボランティアにも現在25名の方が登録をされ、休日、長期休業日も堆肥づくり、灌水、草とり等積極的な活動をされている。施設・設備の面においては学校が古いための修理の箇所も次々と発生する。予算の範囲内で営繕等を行い、安全に活用できるように努めたい。

## 情報の公開・発信

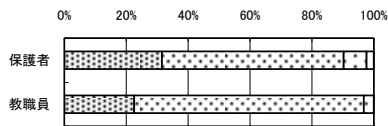
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

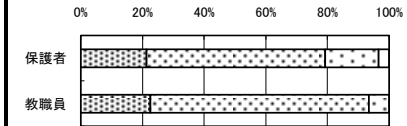


【学校から】教職員は全員が情報発信に努めているという回答をしている。それ比べて受け取る側の保護者は92%の回答であった。保護者の8%とミスマッチの状況がどこから発生しているのか原因を検討し、開かれた学校づくりと学校の説明責任を果たすためにも、多様な方法で情報発信や情報の提供・収集に努めていきたい。「教育活動への参加」に関しては、行事の見直しを図る中で、社会の変化に伴い、今後益々参加への時間の確保が困難になる保護者の立場に立ち、一人でも多くの保護者が参加しやすい形を模索していきたい。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

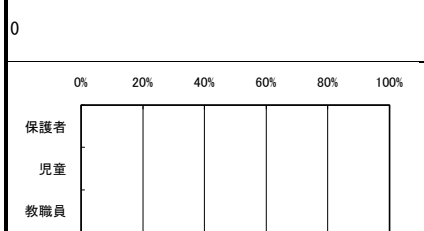
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】保護者の肯定的な回答は79%と教師の94%とかなりの開きがあった。原因の究明に努めるとともに、学校の課題として重く受け止めたい。開かれた学校づくり、学校の活性化のためにも深く反省し、今後の取り組みについて検討したい。

## (学校独自)

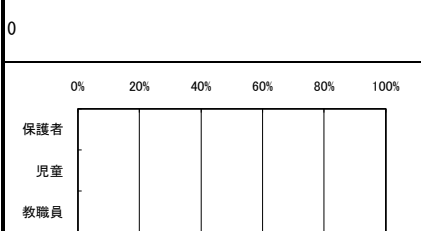
### 23 0



【学校から】

## (学校独自)

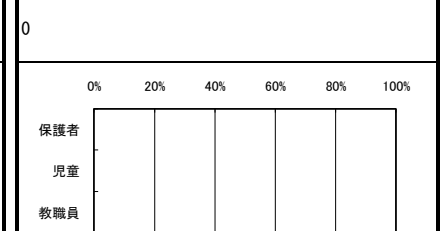
### 24 0



【学校から】

## (学校独自)

### 25 0



【学校から】

## 来年度の具体的な取り組みについて

- ・今年度の学校評価の結果分析から、次年度の課題が見えてきた。その課題解決に向けて全職員一丸となり取り組んでいきたい。
- 学力の確実な定着、充実を図るため、わかる授業、楽しい授業づくりに努める。そのために、校内研修において、本年度の成果を次年度につなげ、授業改善をさらに推進し、新学習指導要領の趣旨に則った学力の充実に努める。また、児童が学習に対して意欲的に取り組むために学習訓練を徹底させるとともに、家庭との連携のもと、家庭学習の時間を確保し充実を図る。
- 豊かな心の育成を図るため、「道徳の時間」の授業において児童の体験活動と結びつけた教材の開発に努める。本校は長年、環境緑化に取り組むことにより心の醸成を図ってきた経緯がある。さらに推進させることにより豊かな心の醸成を図る。規範意識を育てることが求められている。心の教育と連携させながら、機会をとらえて児童の発達段階に即した指導を継続的に行うことによって規範意識を育て、マナーを守り、善悪の判断のつく児童を育てる。
- 総合的な学習の時間の計画を見直しを行い、体験活動等で地域の人材や教育的遺産、行事等の活用を積極的に進めたり、家庭との連携を図ったりすることにより、地域を愛する心の育成、地域の中の学校づくりを推進していく。
- 児童の体力向上に向けた取り組みを引き続き充実させていく。
- 学校施設や遊具等、安全点検を丁寧に行ったり、日常の点検・見回りを強化することにより、学校環境の整備管理の充実を図る。
- 児童一人一人への対応を丁寧にし、保護者との信頼関係をさらに強固なものとしていく。

## 学校関係者評価

- 学校内外が整備されていてとても気持ちが良い。
- 業間の体力づくりの活動の児童の姿がとてもよい。今後ともぜひ続けていって欲しい。
- 学校と地域の連携がとてもうまくいっている。子どもたちにとってとてもいい環境だと思う。
- 校長先生をはじめ諸先生方のご苦労に対して感謝している。